

映画「罪の余白」ヒロイン決定！ 吉本実憂、モンスター女子高生役でヒロインに挑戦！ ～2015年全国ロードショー～

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社（以下、TOKYO MX）と、日本BS放送株式会社（以下、BS11）は、両社が出資・製作する2015年全国ロードショーの映画「罪の余白」（監督：大塚祐吉、主演：内野聖陽）のヒロインが、吉本実憂さんに決定しましたのでお知らせいたします。

本作品は、妻を亡くし男手ひとつで娘を育て上げた父親が、突然訪れた娘の死の謎を追ううちに、そこに隠された真実を知っていく人間ドラマで、第3回野性時代フロンティア文学賞を受賞した小説「罪の余白」（原作：芦沢 央）が原作の作品です。

<作品概要>

- 作品名：罪の余白
- 監督・脚本：大塚祐吉
- 出演：内野聖陽 吉本実憂 谷村美月 葵わかな 宇野愛海 吉田美佳子
堀部圭亮 利重剛 加藤雅也 ほか
- 原作：「罪の余白」芦沢 央著（KADOKAWA/角川書店）
第3回野性時代フロンティア文学賞受賞作
- 製作：2015「罪の余白」フィルムパートナーズ
- 配給：ファントム・フィルム



安藤聡 役：内野聖陽



木場咲 役：吉本実憂

【配給・宣伝に関するお問合せ】
ファントム・フィルム 03-6276-4035

※別紙

【「罪の余白」作品詳細】

ある日突然、高校のベランダから転落死した女子高生。 死の真相を握る友人、【咲】。彼女がとった行動とは・・・！？

★ 可憐かつモンスター女子高生・吉本実憂！！初のダーク・ヒロイン役に挑戦！

大学で心理学を教える男手ひとつで育ててきた娘を突然失い、その死の真相を突き止めようとする父親〈安藤〉役には、舞台、映画、TVドラマと活躍するベテラン俳優の内野聖陽が、娘の親友で、死の真相を知る学校一の美少女〈咲〉役には、自身も現役の女子高生であり、オスカープロモーション主催の第13回全日本国民的美少女コンテストグランプリを受賞した吉本実憂が挑む。

ある日学校のベランダから転落死した咲の友人。彼女の死の真相を探ろうとする教師、父親から疑いがかかる咲。だが彼女は普通的女子高生ではなかった……。芸能界入りを目前に控え、学校ではカリスマ的存在として君臨していた。彼女の頭脳と邪悪な心が大人たちを翻弄する……。！！

このモンスター女子高生を演じる吉本は、今までのイメージを一新、物語のKEYとなる咲を体当たりで演じる。ある時は可憐に、そしてある時は邪悪に一ひとりの人間の奥深さと複雑さを表現する「咲」という役どころ。1か月のリハーサル期間を経て魅せる演技に注目だ。

★ 現代の高校生の知られざる実態を描く

第三回野性時代フロンティア文学賞受賞作を大塚祐吉監督が映画化

ギャルを題材にした『Girl's Life (09)』やヒューマンファンタジードラマ『スーパ〜生まれ変わりの物語〜(12)』、日仏合作映画『フレア』などの大塚祐吉監督が手掛ける本作は、芦沢央氏の原作で第三回野性時代フロンティア文学賞を受賞した物語。選考委員の山本文緒氏に「著者の只事ではないエネルギーを感じた」と評された、手に汗握る人間ドラマである。

美しく頭のいい高校生・咲という少女。大人には敵わないと思わせる圧倒的な発想と行動が、やがて加奈の父に大きな決断をさせてしまうことになる。弱さ、すれ違い、自己の欲望などから生まれるスクールカースト。現代の高校生たちの実態とも思える描写に心を奪われる。

★ 注目の若手女優と演技派俳優との競演！

娘を亡くした父、安藤役・内野聖陽と可憐で邪悪な少女役、咲・吉本実憂の周囲を固める、豪華出演者も見どころの一つ。安藤と同じ大学で働く助教授で、悲しむ安藤の支えとなる教師には谷村美月。咲が憧れる芸能界で大手プロダクションのマネージャー役に加藤雅也、安藤の同僚役に堀部圭亮、そして学部長には利重剛。その他、咲の同級生として、葵わかな、宇野愛海、らが出演している。

■ 解説

高校のベランダから転落した加奈の死を、父親の安藤は受け止められずにいた。娘は、なぜ死んだのか。自分を責める日々を送っていた安藤の前に、加奈のクラスメートだった少女・咲が現れる。そして父と咲を待っていた運命とは――。大切な人の命を奪われた父は償いを求め、少女はそんな父と大人たちの心理を操作する……。選考委員の山本文緒氏に「著者の只事ではないエネルギーを感じた」と評された、手に汗握る人間ドラマ。

■物語

高校のベランダから転落した女子高生の加奈。加奈の死は事故か自殺か…。

その事件はある日突然起こった。

学校の中でもとびぬけて目立つ存在で、カリスマ性のある咲（吉本実憂）。女子高におけるカースト制の頂点に立つ彼女の周りには、咲に憧れる友人グループがいる。

その中の一人が、学校のベランダから転落死したのだ。

妻を病気で亡くし、男手ひとつで加奈を育て上げた加奈の父親の安藤聡（内野聖陽）。娘の死の絶望から立ち直れず、自分を責める毎日。事故死だと信じる安藤は独自で娘のクラスメイトに接触する。

そしてそこに立ち上がったのは、咲だった。果たして咲はこの事件に関与しているのか。芸能界入りを目前にし、友人を手下のように扱う咲の実態は・・・！？

今、安藤と咲の壮絶な戦いが始まる！

■作品制作情報

撮影期間：2014年11月1日-11月30日

完成予定：2015年3月上旬予定

劇場公開：2015年

【監督／脚本 大塚祐吉】

映画作品としては、『Girl's Life』(09)、生瀬勝久が初主演を果たした『スープ～生まれ変わりの物語～』(12)、『フレア』(14)など。今回の『罪の余白』では、撮影が入る前に1ヶ月のリハーサルを重ねるなど、出演者たちが織りなす演技を綿密に演出。

「コメント」

●吉本さんをキャスティングされた経緯と、キャスティングの決め手は何でしょうか。何人かの素晴らしい十代の役者さんにお会いさせて頂いて、じっくり考えてから吉本さんに咲役をお願いしました。

決め手になったのは、吉本さんの持つ強さと決して受け身にならない仕事に対する姿勢、それと長時間お話しさせて頂いた最後に「もし一緒に作品をやる事になったら、とことん二人で内野さんを追い込んでやろうね」と言った時、笑顔で「はい！」と答えていた事です。

●初めてお会いになられた印象は？

自分の弱さを隠さない強さと、常に相手の目を見ながら話す姿が印象に残っています。

●リハーサルを重ねてみて、吉本さんの変化や人となりで感じられたこと。

一ヶ月のリハーサルを通して、役に成りきり限界を持たないタフさを身につけられたと思います。相手役が誰であろうが常に挑戦する姿勢は、見ていて面白いモノがありました。

邪悪なキャラクターを演じられていますが潜在的に持っているユーモアのセンスを上手く役に取り入れてくれて、更に面白いモノにしてくれました。

強い意志を持って仕事に挑まれているので最高のコラボレーターですし、一緒に仕事をしていてとても楽しいです。

●撮影中の吉本さんと内野さんの共演をご覧になって、どのように感じられますか？

お二人とも役に成りきり挑戦する事を恐れ無いので見ていて刺激的です。

良い作品にする為に適度な距離感を持ちながら現場にいらっしゃいますが、本番では徹底的にお互いの役柄でぶつかり合ってますので最高です。

【吉本実憂 略歴】

1996年12月28日生まれ。福岡県出身。

2012年に開催された「第13回全日本国民的美少女コンテスト」(応募総数102,564通)でグランプリを受賞。

2013年、同コンテストのファイナリストで結成された「X21」のリーダーに就任。同年6月に発表された2014年大河ドラマの新キャスト発表会見で「軍師官兵衛」の栄姫役に抜擢され、11/16より後半の重要な役として登場、今週末放送(11/23)では黒田長政と戦前夜の祝言のシーンという複雑な胸中を表す演技に挑戦。12月には、初主演映画「ゆめはるか」の公開も決定。今後の活躍が大きく期待され、今、大きく注目を集める17歳。

【吉本実憂コメント】

●この作品の出演が決まった時の思い

演技のお仕事をさせて頂けるということが本当に幸せですし、難しい作品だけど挑戦しよう！という気持ちで気合いが入りました。

●原作を読んだ感想

脚本から読んだので後で原作を読むと色々と設定が違うことに気づきました。原作者と、脚本家のお話の柱は変わりませんが、表現方法が違うので両方のアイデアを理解した上で演技して深みが出せればと思っています。

●演じる役に関しての思い

かなり理解に苦しむ役です。本当に難しいです。彼女を演じることで何が私に残るか今はまだわかりませんが、今は演じきることに集中してやっています。

●内野さんとの共演に関して

テレビで見ていた大先輩の内野さんとの共演ということでとても緊張しますが、同じ作品にできる限り、生意気ですが新人でも遠慮しないでいこうと決めています。演じる役の関係性が微妙なので、現場でもその距離感を楽しむようにしています。

●映画にかける意気込み

とにかくスタッフ、俳優みんなで作り上げる作品なので、私は少し背伸びをして自分にしかできないことをこの作品に残していきたいと思います。全力で頑張りたいと思います。

(クレジット)

出演：内野聖陽 吉本実憂 谷村美月 葵わかな 宇野愛海 堀部圭亮 利重剛 加藤雅也 ほか

監督・脚本：大塚祐吉

原作：「罪の余白」芦沢央著 (KADOKAWA/角川書店)

第3回野性時代フロンティア文学賞受賞作

製作：2015「罪の余白」フィルムパートナーズ

配給：ファントム・フィルム

2015年、全国ロードショー

●配給・宣伝お問い合わせ：ファントム・フィルム 03-6276-4035

●吉本実憂に関するお問い合わせ：オスカープロモーション 宣伝部 03-5774-3220